

弥栄のみらい創造会議

NO	分類	質問	回答
1	運営	【年齢層について】 ①活動される人の平均年齢は何歳ぐらいですか。 ②活動の中心となっている年代を教えてください。 ③委員の年齢構成を知りたいです。	課題解決支援事業に取り組んだ委員 年代:30代2人、40代2人 弥栄のみらい創造会議委員 60代～70代が多い
2	運営	全ての住民が参加していますか。	推進委員は29人ですが、自治会や様々な団体から推薦して委員を選出しており、情報共有を図っています。
3	運営	事務量はどのように分担していますか。仕事の両立等、負担の分散はできていますか。	細かい事務作業はできるだけ事務局で行うようにしています。できる人ができる事をできる時にが基本です。
4	運営	限られた人数の中で話し合いを進めるための工夫は何ですか。	推進委員が主体的に会議日程、内容等を協議しています。
5	運営	部会の事業は全てできていますか。	事業計画に載せたものは出来ています。
6	運営	スムーズに運営できているように感じますが、苦労したところ、意見がぶつかりあったこと等はなかったですか。	継続事業で意見相違はあまりありませんが、事業の企画段階ではぶつかることもあります。
7	運営	事務局はまちセンが専属で行っているのですか。	安城と杵束のまちづくりセンター職員6名で分担して行っています。
8	運営	高齢の方の参加、健康づくり、介護予防、地域の福祉活動に取り組んでいる具体例があれば知りたいです。	令和5年度は、なごみ部会で認知症サポーター養成講座を開催しました。
9	外部との連携	【村岡さんについて】 ①村岡さんについて詳しく教えてください。 ②村岡先生だ！と決定された時、村岡先生とのつながりは既に存在していたのでしょうか。③誰から情報を得たのでしょうか。外部とつながる方法や工夫はありますか。 ④村岡さんへの委託料はどのくらいですか。	①村岡さん: 下記のアドレスからホームページをご覧ください。 https://www.hibinodesign.com/about ②つながり: 弥栄支所がブランディング戦略立案事業を行っていた時からのつながりです。 ③情報収集・工夫: 弥栄支所からの情報です。自治会から協働のまちづくりに移行する際に推進委員も村岡さんのワークショップに参加し、弥栄をどうしていきたいか話し合いました。 ④委託料: 913,000円(令和4年度情報発信推進事業での委託料)
10	外部との連携	専門家と聞くと、つつい頼りがちになると思われそうですが、頼りっぱなしにならず、住民が主体であった秘訣は何ですか。	村岡さんが伴走役に徹してくださっており、委員の意見第1に進めていたからだと思います。
11	地域の反応	これだけ大きな事業を行うにあたり、地域からの反対意見はなかったですか。	なぜ情報発信の仕組みが必要か、推進会議や各部会で説明しました。特に反対という意見はありません。
12	地域の反応	様々な世代がいる中で地区内への情報の広め方、まきこみ方が知りたいです。(もしくは大変だったこと)	地区内への情報は、広報はまだと一緒に全戸配布する紙媒体の広報紙「弥栄町みらい便り」ですが、ホームページやSNSでも見るができるようにしています。現在も情報提供について情報部会等で協議しています。
13	SNS	【SNSの実績について】 ①今のSNSのフォロワー数はどのくらいですか。 ②閲覧数はどのくらいですか。 ③更新頻度はどのくらいですか。 ④SNS作成時の苦労はありますか。 ⑤手ごたえや地域の反応はどうですか。	①フォロワー: Facebook、Instagram、公式LINEの友だち数 合計350人 ②閲覧数: SNSの閲覧数は把握していません。 ③更新頻度: イベント等の案内、報告 ④苦労: 情報集め、情報発信チームとの連携 ⑤手ごたえ: 地域内では若者、地域外の方がフォローしてくださっています。反応がすぐに返って来るので見てくださっていることを実感できます。
14	SNS	今度、どのような情報発信を考えていますか。(インスタグラムやストーリーズ等が人気)	おっしゃる通り、Instagramのフォロワーが一番多いです。他のSNSとも連携しながら発信していきたいです。

15	ホームページ	【ホームページの運営について】 ①ページの更新頻度はどのくらいなのか。 ②ページの更新にはどのくらい時間がかかるのか。 ③維持管理の専属担当者がいますか。 ④作成にかかる経費はどのくらいですか。 ⑤維持にかかる費用はどのくらいですか。	①更新頻度: イベント情報はその都度 ②更新にかかる時間: 記事によってケースバイケースです。 ③専属担当者の有無: 更新や記事のアップは事務局で行っています。 ④作成の経費: 無料版のサイトを使用したため、作成時の費用はかかっていません。 ⑤維持の費用: 年間12,000円(有料版に更新したため)
16	ホームページ	弥栄町民がタイムリーにホームページへ情報発信できるシステムになっていますか。	住民側から発信できるシステムは現在はありませんが、情報を書き込める場所があるといいですね。検討します。
17	ホームページ	高齢化の高い地域でホームページ素晴らしいとは思いますが、どのくらい情報は伝わっていますか。	ホームページは主に県外在住者をターゲットとしています。R6年3月現在998件の閲覧があります。
18	I・Uターン	【U・Iターン者の現状について】 ①現在のIターンの人口は何%ですか。 ②現在のUターンの人口は何%ですか。 ③Iターン者の活動状況を知りたいです。	①②(市回答) 人口割合ではありませんが、県集計の数値として、浜田市の年度ごとのU・Iターン者の人数を把握しております。 <U・Iターン者数 内訳> (R4.4.1～R5.3.31) ・Iターン者52名 ・Uターン者135名 ・不明5名 計192名 ③活動状況の例として、 ・やさか共同農場(農業研修生を受入れ、就農につなげる) ・マンナム、ソレイム(飲食店)の開業 ・ふるさと体験村の運営 などが挙げられます。
19	ふるさと体験村	【ふるさと体験村との関連について】 ①どのような関わりなのか。 ②活動状況を教えてください。 ③地域で担っていけると思いますか。 ④今後どのような活動をしていきますか。	①関わり: 弥栄のみらい創造会議が浜田市から指定管理を受けて運営しています。 ②活動状況: 4月～12月、3月営業 ③担い手: プロジェクトマネージャーを中心に頑張っています。 ④今後の活動: グリーンパーク部会で体験村を拠点とした町内での体験活動メニューを考案中です。
20	その他	10年ビジョンの10年とは「10年かける」という意味ですか。もしくは「10年後に」という意味ですか。	10年後の弥栄がどうあって欲しいかを出し合い、それに向けた1年ごとの事業を計画・実施しています。(PDCAの実施)
21	その他	10年ビジョンについて実際にどんな意見がでていますか。	年代ごとのありがたい弥栄の姿が出ています。弥栄地区まちづくり計画をご覧ください。
22	その他	本日説明された内容を地区に帰って説明する予定がありますか。	5月に予定されている弥栄のみらい創造会議総会時に説明することになっています。
23	その他	今後、今の住民にただよう熱気をどう次世代に伝えていきたいですか。	やる気のある若者の意見を否定せずに応援することで、受け継がれると思います。
24	その他	【スマホ教室について】 ①スマホ教室は年齢の高い方はどうですか。 ②効果は表れそうですか。	①高齢の方: 令和5年度、浜田市が町民20名を募集し、スマホ教室を開催され、今年度も開催予定です。 ②効果: 受講後も使い方を教えて欲しいとまちセンに個別に来られます。
25	その他	ロゴマークの景色は実際の弥栄の景色をデザイン化したものですか。	八谷さん(浜田市在住)というデザイナーにまちづくり計画を見てイメージしていただきました。
26	その他	【発表資料・動画について】 ①素敵な資料はどなたが作られましたか。 ②ご説明中流れていた音楽は皆さんが演奏されましたか。	①資料作成者: ありがとうございます。まちづくりセンター職員です。 ②演奏: 資料を作成したサイトにある音源です。演奏出来たら素敵ですね。